



親子読書の取り組み ありがとうございます！

お忙しい中、親子読書の取り組み、ありがとうございました。これまでよりも、2枚目に挑戦している人がとても多かったです。ご協力ありがとうございました。

☆親子読書の感想より

「おおきな木」(1年)

わたしは、「おおきな木」をよんでみて、おもしろかったです。どこがおもしろかったかという、「えだにぶらさがってあそびました。」のところがおもしろかったです。

(保護者の方から) 幸せを求めると何でも手に入る時代になっていますが、今、当たり前に行えることに感謝しながら、日々を大事に過ごしていきたいと思いました。欲しいものは簡単に手に入らない、苦勞して手に入れるものだという事を子どもが理解してくれればと思いました。

「スーホの白い馬」(2年)

スーホというひつじかいの少年がいて、スーホが白馬と出会い、けい馬に出会った。そのあと、白馬がしんでしまって馬頭琴になったのが一番心にのこりました。教科書とは、ちがう文しょうがありました。

(保護者の方から) 2冊目にチャレンジです！スーホの白い馬は、教科書にもありますが、図書室で借りた本は教科書よりもくわしく書かれているので、読みながら「こんなこと書いてある～！」と言いながら楽しく読みました。最後に白馬が死んでしましますが、スーホとの友情にあふれたお話で、感動しました。

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂『クッキングツリー』」(3年)

このお話は、しょう平とほくとがふしぎなだがし屋、ぜに天どうで、ある人から「クッキングツリー」というおかしをもらって、しょう平とほくとのお母さんも幸せになるというお話です。わたしは、この本を読んでしょう平とほくとのお母さんが幸せになれてよかったなと思いました。

(保護者の方から) ひどい育児放棄の母親と、それでも慕う子どもたちという現代で耳にすることが増えた内容がベースで、正直、読んでいて物語と分かっているけど理解しがたい母親の行いにイラついたり、子どもたちの気持ちの描写に心が痛んだりする程でした。しかし、礼儀をわきまえば、色んなごちそうの味がする木の実が食べられるという木を、子どもたちは手に入れました。それだけでも、おなかいっぱい食べられて良かった…と子どもたちのことを思うと同じようにうれしく思える構成でした。

「いのちよりも大切なもの」(4年)

ぼくは、命より大切な物を読む前は、命より大切な物はあまりないと思っていました。だけど、この本を読むとあると分かったので、びっくりしました。また読みたいです。

(保護者の方から) いつもはマンガのような本をよく読んでいたので、ほんとうに読むのかなと思っていましたが、使われている漢字も多く、字も小さく、内容の濃い本を読み切っていました。ただ読むだけでなく、内容を理解し、考え、行動してくれたらいいなと思うし、今日読んだ本を日常生活で思い出し、活かしてくれたらと思います。

「5分後に意外な結末」(5年)

意外とスラスラと読めました。「5分後に意外な結末」シリーズの中で、わたしが一番大好きな「父の時きゅう」というお話を読みました。家族のつながりが分かるいい話でした。

(保護者の方から) 読み聞かせをしてもらいました。本人がとても好きな話で、「すごくいい話なんよ！」と教えてくれて、聞いていると子どもの「お父さんといっしょにいたい。」という気持ちがとても伝わる話で感動できました。こういう話をすてきだと思えるようになったんだなと感じました。

「レンタルロボット」(6年)

ちがう本を親子でそれぞれ読みました。いつもとはちがう感じがしたけど、いっしょに静かに本を読むのはいいなと思いました。レンタルロボットは物語ですが、最後の言葉があとになって「大切だな」と思うように工夫してありました。

(保護者の方から) 「男子 10歳までの言葉がけ」初めてそれぞれ本を読んでみました。この静かな時間、なかなか無い時間でした。わたしは、買ったもののなかなか読めずにいた本を読むことができました。

☆ 今回の親子読書では、1年生では3名、2年生は5名、4年生1名、6年生は1名で、今年度最多の10名が2枚目の親子読書にチャレンジされていました！読み聞かせをしたり、同じ時間に一緒に読んだり、様々な取り組み方法が見られました。児童が進んで読書に取り組んでくれたこと、そして保護者の方が親子読書にご協力してくださったことを、大変うれしく思いました。来年度も親子読書を行う予定です。引き続き、ご協力のほど、よろしく申し上げます。